

2018年9月5日

福島県立医科大学  
甲状腺・内分泌センター長

## 手術の適応症例について（訂正報告）

2017年11月30日に開催された第8回甲状腺検査評価部会において、「資料3」で手術の実施症例について報告いたしました。

そのうち、3枚目と4枚目のスライドの一部に誤りがありましたので訂正いたします（**資料3**訂正版）。

## 【訂正の理由】

「県民健康調査」甲状腺検査で診断された「甲状腺がんまたはその疑い」の症例数が2016年3月31日までに132例であったことは、「県民健康調査」検討委員会\*に報告した通りです。同じ期間に福島県立医科大学で手術を実施した症例数については、甲状腺・内分泌学講座で集計し、国際専門家会議\*\*に報告しています。その報告に基づいて第8回甲状腺検査評価部会において126例と報告しました。しかし、診療の側で再度調査した結果、正しくは125例であることが判明しました。その結果、他施設で手術が行われた症例数についても、 $132-126=6$ 例と報告しましたが、 $132-125=7$ 例となります。

125例を126例と報告した理由は、2016年4月に入ってから手術が実施された1例を組み入れてしまったことによります。

第8回甲状腺検査評価部会においては、引き続き「福島県立医科大学における甲状腺がん125例」について臨床的な特徴を説明していますが、対象とした125例は、2016年4月までに手術された症例になりますので、その点を追加記載いたしました。

\* 第23回「県民健康調査」検討委員会（2016年6月6日）

資料2-1 県民健康調査「甲状腺検査（本格検査）」実施状況

資料2-2 県民健康調査「甲状腺検査（先行検査）」結果概要【平成27年度追補版】

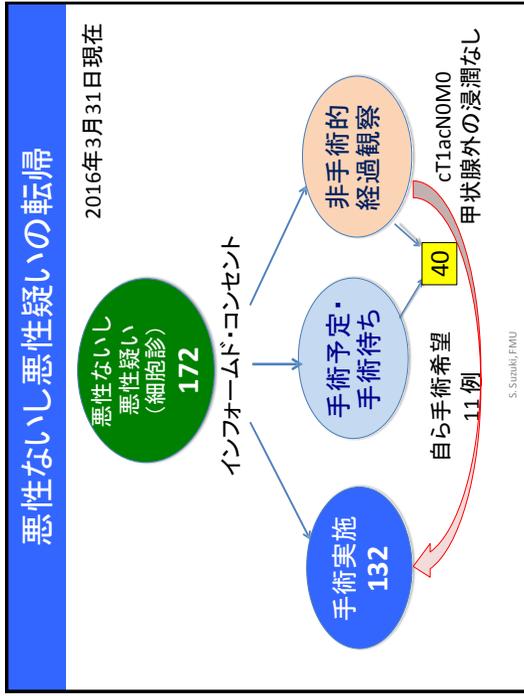
\*\* 第5回放射線と健康についての福島国際専門家会議（2016年9月26-27日 福島）

第5回放射線と健康についての福島国際専門家会議  
(2016年9月26-27日 福島)資料参照  
ふくしまからはじめよう。  
Future From Fukushima.

**福島第一原子力発電所事故後の  
小児・思春期の甲状腺がん**

福島県立医科大学  
甲状腺・内分泌学講座  
鈴木 真一

S. Suzuki, FMU

↓

3枚目 (3箇所訂正)

福島県甲状腺検査からの手術例  
2012年8月から2016年3月まで

合計	132
福島県立医科大学	<del>126</del> → 125
他施設	1
良性甲状腺結節	<del>125</del> → 124
甲状腺がん	<del>6</del> → 7
甲状腺がん	

S. Suzuki, FMU

4枚目 (2箇所追加)

福島県立医科大学における  
甲状腺がん125例★の特徴

- 男子:女子 44:81 (1:1.8)
- 災害時平均年齢(歳) 14.8±2.7 (5-18)
- 診断時年齢(歳) 17.8±3.1 (9-23)
- 腫瘍の占居部位
 

片側*	121 (96.8%)
両側	4 ( 3.2%)

\*: 右 67 左 53 峡部 1

★2012年8月から2016年4月までの甲状腺がん手術症例

## 術前所見

n=125

- 腫瘍サイズ (最大径) 14.0±8.5 mm (5-53)
- cT
 

1a	44 (35.2%)
1b	57 (45.6%)
2	12 (9.6%)
3	12 (9.6%)
0	97 (77.6%)
- cN
 

1a	5 (4.0%)
1b	23 (18.4%)
0	122 (97.6%)
- M
 

1	3 (2.4%)
---	----------

cT1 101 (80.8%)

cN1 28 (22.4%)

M cT3cN1a pT3pExIpN1a  
M cT3cN1b pT2pExOpN1b  
F cT1bN1b pT3pExIpN1b

S. Suzuki, FMU



## 術前所見

n=125

- cT
 

1a	44 (35.2%)
1b	57 (45.6%)
2	12 (9.6%)
3	12 (9.6%)
0	97 (77.6%)
- cN
 

1a	5 (4.0%)
1b	23 (18.4%)
0	122 (97.6%)
- M
 

1	3 (2.4%)
---	----------

cT1a (≤10mm) cN0M0 44 (35.2%)

以下が疑われる 33 (重複例あり)

- 甲状腺被膜外浸潤 (Ex1) 疑い 20
- リンパ節転移 (N1a) 疑い 3
- 反回神経浸潤、近接 10
- 気管浸潤、近接 7
- バセドウ病合併 1
- 肺陰影 1

患者の手術希望 11

S. Suzuki, FMU



## 術式

n=125

- 全摘 11 (8.8%) \*
  - 片側切除 (葉切除) 114 (91.2%) \*\*
- \*皮膚切開 4-5cm, \*\*皮膚切開 3cm
- リンパ節郭清
 

D0	0
D1	102 (81.6%)
D2a	2 (1.6%)
D2b	19 (15.2%)
D3b	2 (1.6%)

中央区域リンパ節 81.6%

外側区域リンパ節 18.4%

S. Suzuki, FMU

## 術後所見

- pT
 

1a	43 (34.4%)
1b	31 (24.8%)
2	2 (1.6%)
3	49 (39.2%)
4	0
- pEx
 

0	75 (60.0%)
1	49 (39.2%)
2	0
X	1 (0.8%)
- pN
 

0	28 (22.4%)
1a	76 (60.8%)
2b	21 (16.8%)

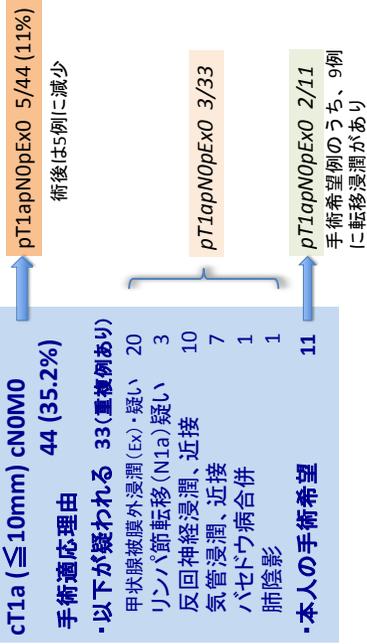
pT1 74 (59.2%)

pEx+ 49 (40.0%)

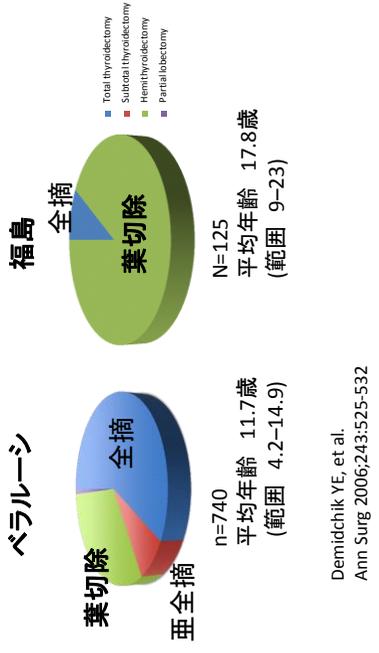
pN1 97 (77.6%)

S. Suzuki, FMU

## 術前に10mm以下で転移浸潤のなかった 微小癌の術後所見



## ベラルーシと福島での 小児若年甲状腺がんの術式の比較



## 甲状腺がん125例の病理組織学的分類

- 甲状腺乳頭癌
  - 121
  - 古典型 110
  - 濾胞型乳頭癌 4
  - びまん性硬化型乳頭癌 3
  - 充実型乳頭癌 0
  - 篩型乳頭癌 4
- 低分化癌 3
- その他 1

S. Suzuki, FMU